

自衛官

2020. 6. 30

今年の3月に本校を卒業した生徒の中に、航空自衛官候補生として、山口県で活躍中の卒業生がいる。今の3年生の中にも自衛官を目指している生徒がいる。自衛隊の存在は誰でもが認識しているが、意外とわからないことが多いのではなかろうか。

自衛官は、特別職の国家公務員である。他の公務員と同様に、週休二日制で祝祭日も休養日となっている。安定した職業だと言える。一言で言えば、国家を守る公務員、それが自衛官ということになる。

自衛官は、国の平和と独立を守るという使命の下、領土・領海・領空を守る活動や災害時の捜索・救助、医療等の対応、海外での国際平和協力活動などを行っている。多様な分野のエキスパートが活躍する自衛隊だが、戦車や艦艇などの最新装備を扱う分野から人事・総務まで、陸・海・空それぞれに適性に応じた幅広い選択肢がある。

年々、女性自衛官の数が増えてきている。原則、全職種が開放され、2019年3月末現在で約1万6千人が所属しており、全自衛官に対する割合は約7%となっている。

自衛隊というと、体育会系の厳しいイメージがあるが、文化部や帰宅部だった方もいる。運動をしておかなかった人には、その分伸びしろがあり、向上心さえあれば、体力も精神力も伸びていくそうである。武器の整備や駐屯地の清掃など、体を動かさない業務も意外と多い。また、デスクワークもある。基地から出られないイメージもあるが、申請すれば外出もできる。

訓練のイメージが強いが、教育期間の訓練は、あくまでも基礎的な体づくりが目的となっている。訓練は段階的に少しずつ進んでいく。中には運動が苦手な人もいるが、できない部分は教官が個別にサポートしてくれる。

自衛官と言っても様々な仕事がある。音楽隊で打楽器を担当する人、大型ドライバーとして物や人をトラックで運搬する人、ドッグハンドラーとして、警備犬と共に基地を警備する人、航空機整備員として航空機を安全な状態に仕上げ、パイロットに提供している人、通信員として災害等による通信障害の発生時に回線を作り、部隊の任務遂行を助ける人、広報として自衛隊への理解と関心を高められるよう、その魅力を発信している人、調理員として艦内の食事を作っている人、心理幹部として隊員や家族が心の健康を保てるようサポートする人、臨床検査技師として病院に勤務し、血液検査などを行っている人など多種多様である。

自衛隊では、自動車整備士、大型自動車運転免許、小型船舶操縦士、救急救命士、准看護師、診療放射線技師、電気工事士、調理師免許、栄養士など、様々な資格を取得できる。そして、自衛隊での経験を生かして民間企業への再就職や大学等への進学を支援する体制もできている。

本校から自衛官を目指す生徒には、ぜひ試験を突破し、夢を実現させてほしい。自衛官は、とりわけ使命感の強さを求められる職種の一つである。それだけ、社会への貢献度が高い。それがやりがいでもある。明日、7月1日（水）から就職に関して求人票の受付が始まる。